

日本原子力学会 保健物理・環境科学部会
平成 14 年春の年会 総会
(平成 14 年 3 月 27 日 12 時～13 時 B 会場)

議 事

1. 部会長挨拶 小佐古敏荘 (東大)
2. 平成 13 年度 活動報告 (資料 1)
3. 平成 13 年度会計報告ならびに平成 14 年度予算案 (資料 2)
4. 平成 14～15 年度運営委員会体制について (資料 3)
5. その他 (今後の部会企画等) (資料 4)
6. 副部会長挨拶 福井正美 (京大)

保健物理・環境科学部会 平成 13 年度活動報告

1. 大会における部会企画

平成 13 年秋の大会（北海道大学）

総合講演 9 月 19 日（水）13:00-15:30 C 会場

「環境モニタリングと環境動態研究」

座長 本間俊充（原研）

- 1) 大気海洋におけるグローバルフォールアウト核種の長期動態の研究
- 長期観測結果と全球データベース化により得られたもの - 青山道夫（気象研）
- 2) 環境モニタリング結果のデータベース化 桐田博史（分析セ）
座長 内田 滋夫（NIRS）
- 3) 環境モニタリング状況と環境安全研究 吉岡満夫（福井県原監セ）
- 4) 土壌 - 植物系における放射性核種および安定元素の移行と分布に関する研究
塚田祥文（環境科研）
- 5) 環境モニタリングデータによる放射性核種の環境動態研究 高橋知之（京大炉）

平成 14 年春の年会（神戸商船大学）

総合講演 3 月 27 日（水）13:00-15:00 B 会場

「放射線線源の管理」

座長 飯田孝夫（名大）

- 1) 自然放射性線源 下 道国（NIRS）
- 2) 身元不明線源 甲斐倫明（大分看科大）
- 3) IAEA と諸外国の対応例 杉浦紳之（東大）

2. 部会が主催または共催した研究会等

「新しい放射線防護体系の論点」東京大学原子力研究総合センターシンポジウム

日 時；平成 13 年 12 月 11 日 13 時～17 時

場 所；東京大学参上会館（約 90 名）

「トリチウム安全工学」京都大学原子炉実験所専門研究会

日 時；2001 年 12 月 12 日 14:25 ～13 日 12:05

場 所；京都大学原子炉実験所（約 60 名）

第 3 回「環境放射能」研究会（高エネルギー加速器研究機構他主催）

日 時；平成 14 年 3 月 5 日 9 時～7 日 14 時 30 分

場 所；高エネルギー加速器研究機構（約 120 名）

保健物理・環境科学部会
平成 13 年度会計報告ならびに平成 14 年度予算案
(要 総会承認)

	科 目	予算額	前年度予算額	備 考
収 入	前期予算繰越金	¥198,564	¥83,564	
	配付金収入	¥162,000	¥145,000	企画委員会算定
	寄付金・賛助金収入	¥0	¥0	
	セミナー売上収入	¥0	¥0	
	その他収入	¥0	¥0	
	当期収入合計	¥360,564	¥228,564	

支 出	会議費	¥30,000	¥30,000	部会総会弁当代(30食×2)
	通信・発送費	¥0	¥0	
	会報印刷費	¥0	¥0	
	ニュース印刷費	¥0	¥0	
	雑印刷費	¥0	¥0	
	講師謝金・旅費	¥100,000	¥0	
	セミナー補助金	¥50,000	¥0	
	会員管理費(オフィス料)		¥0	
	その他支出		¥0	
	予備費	¥180,564	¥0	
	当期支出合計	¥360,564	¥30,000	
	当期末収支差額	¥0	¥198,564	

注；本表は平成 13 年 11 月 16 日現在の情報を基に、平成 13 年月 12 月 17 日付けで学会企画委員会に提出したものです。

平成 14～15 年度運営委員会体制について

全部会員による信任投票結果（平成 14 年 2 月 26 日投票締切）

部会員数 151 名
回答数 119 票（すべて「候補者全員信任」）
原案通り可決

「第 2 期（平成 14～15 年度）運営委員」

天野 光（原研） 飯田孝夫（名大） 生瀬博之（三菱マテリアル）
内田滋夫（放医研） 占部逸正（福山大） 金子正人（放影協）
近藤健次郎（高工研） 篠原邦彦（サイクル機構）
小佐古敏荘（東大） 下 道国（藤田保健衛生大） 杉浦紳之（東大）
塚田祥文（環境科研） 野口 宏（原研） 服部隆利（電中研）
早田 勇（放医研） 二ツ川章二（日本 RI 協会） 福井正美（京大）
本間俊充（原研） 牧野祐子（筑波大） 三浦太一（高工研）
宮崎振一郎（関電） 宮部賢次郎（サイクル機構） 森嶋彌重（近大）
山西弘城（核融合研） 山本英明（原研）

新旧運営委員互選による役員の選任

部会長 小佐古敏荘（東大）
副部会長 内田 滋夫（NIRS）
会計監査 宮崎振一郎（関電）

運営委員幹事の選任

部会長及び副部会長の協議により任命（平成 14 年 4 月の予定）

以上

今後の部会企画について

【運営委員から寄せられた案】

「被曝事故の教訓」 一政委員

コメント；事故はゼロであってほしいが、事故は忘れた頃にやってきます。
事故を防ぐための名案と良い対策方法求め続けるためのシリーズ。

「高 LET 放射線と健康影響について」

「宇宙放射線（航空機、高地、人工衛星等）による被曝」

「ラドン（温泉、洞穴、密閉住宅）による被曝」 早田委員

「低線量放射線の影響」 占部委員